

平成19年度千歳市一般会計補正予算概要

平成19年度千歳市一般会計補正予算案を提出するにあたり、その概要につきましてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額に、今回の補正額であります17億6,354万1千円をそれぞれ追加いたしまして、一般会計予算の総額を471億6,878万5千円にしようとするものであります。

この結果、一般会計では、総額で前年度の当初予算に比べ4億1,287万円、0.9%の増となっております。

歳入につきましては、一般財源の総額で235億5,043万9千円となり、前年度当初予算に比べ1億8,193万6千円、0.8%の増となっております。

この内訳は、臨時一般財源では国の一般財源化などにより地域住宅交付金などで増となったものの、減税補てん債の皆減や臨時財政対策債の減などにより7,393万3千円、1.8%が減となり、経常一般財源では、国の「三位一体の改革」により所得譲与税は皆減となったものの、税源移譲による市税の増加等により2億5,586万9千円、1.3%の増となったものであります。

また、特定財源では、総額で236億1,834万6千円となり、前年度に比べまして2億3,093万4千円、1.0%の増となっております。

これは、経常特定財源で道民税徴収委託金や施設訓練等支援費負担金などの増により、4.3%の増となったことなどによるものであります。

次に、歳出であります。まず、経常的経費では、新生児訪問事業、特別支援教育体制推進事業など1,092万5千円を追加し、総額で241億1,872万3千円となり、前年度に比べ3億477万9千円、1.3%の増となっております。

次に、臨時的経費では、市民協働推進事業、高齢者用火災報知器給付事業などの計上により1億3,222万9千円を追加し、総額で181億7,410万4千円とし、前年度に比べ8,579万2千円、0.5%の増となっております。

投資的経費では当初予算32億5,557万1千円に補正額16億2,038万7千円を追加し、総額で48億7,595万8千円となり、前年度に比べ2,229万9千円、0.5%の増となりました。

投資的経費の内訳は、補正後総額で補助事業費12億2,584万2千円、単独事業費36億5,011万6千円で、これらに充当する一般財源は20億193万2千円となり、前年度に比べ6.2%の増、特定財源では28億7,402万6千円で3.2%の減となっております。

この事業内容は、公営住宅建替事業、教育用・教職員用パーソナルコンピュータ整備事業、市民球場整備事業、小中学校大規模改修事業、ポロピナイ休憩所施設整備事業、地域情報化推進事業、道路・公園整備事業などを計上しております。

また、今回、金融環境や国の動向などから平成17年11月に策定した土地開発公社の経営健全化計画を見直し、今年度から10年間で公社の借入金を現在の136億7千万円から51億7千万円までに縮小し、この後、公社の役割も一定程度、終息したことなどから土地開発公社を解散して、市に資産等を引き継ぐものとし、今回の補正予算では、公社に対する未払金の解消等に向け、平成18年度決算剰余金の一部を財源として、泉沢向陽台住宅用地購入事業に2億円を追加しております。

この政策予算につきましては、市長公約の着実な実現とともに、21世紀のまちづくりの指針となる「21☆千歳きらめきプラン」の推進、平成17年度から取り組んでおります「安心」と「活力」の2つを柱とした「子育て・教育」など5つの重点施策の実施など、「活力が循環する都市」の具現化に向け編成したところであります。

以下、計上いたしました主な補正予算につきまして、「新長期総合計画」に掲げた5つの都市づくりの目標に沿ってご説明申しあげます。

はじめに、『心がかよい幸せ感じる都市づくり』の予算であります。

すべての市民が心身ともに健康で、生きる喜びを実感しながら暮らせるよう、保健予防対策の充実を図り、子育てや在宅療養等の支援のため、

新生児訪問（こんにちは赤ちゃん）事業費	131万8千円
難病患者等生活支援事業費（小児慢性特定疾患児日常生活用具給付）	15万4千円

を計上しております。

生涯を通じて健やかな生活が送れるよう、バリアフリーの視点に立った人にやさしいまちづくりと、長寿時代にふさわしい高齢者のニーズに応じた福祉サービスの充実を図るとともに、障害者のライフスタイルに沿った自立生活の確立を推進するため、

本庁舎西口改修事業費	3,050万円
高齢者用火災報知器給付事業費	1,289万8千円
障害者自立支援教育訓練等助成事業費	200万円

を計上しております。

一人ひとりの子どもが個性豊かでたくましく成長できるよう、経済的支援対策を推進するとともに、子どもたちを心豊かに育む環境づくりのため、

乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業費	421万6千円
------------------	---------

放課後子どもプラン推進事業費 62万9千円
を計上しております。

健康で文化的な生活への自立を支援するとともに、地域住民の自主的な参加と連帯による人と人とのふれあいや信頼と温もりのあるコミュニティづくりをめざして、

コミュニティ助成事業費	250万円
町内会館整備事業費	1,500万円
コミュニティ施設防音機能復旧事業費	140万円

を計上しております。

次に、『安全で人と地球にやさしい都市づくり』の予算であります。

地球的視野に立った環境保全と資源の有効活用により、環境への負荷の少ない循環型社会の構築と、水と緑に包まれたうるおいと安らぎに満ちた都市環境づくりのため、

家庭ごみ適正排出啓発事業費等	103万1千円
公園整備事業費	9,378万円

を計上しております。

さまざまな災害から市民の生命、身体及び財産を守り、安全で安心して暮らせる環境づくりをめざし、防災対策の充実を推進するとともに、消防体制の強化や交通安全環境の整備を図るため、

市民協働防災事業費	45万円
自主防災組織育成事業費	18万4千円
C経路まちづくり事業費	8,760万円
空気呼吸器更新整備事業費	1,558万2千円
交通安全指導車更新事業費	281万3千円

を計上しております。

安全でおいしい水を供給するため水資源の確保を図るとともに、基地障害防止対策の推進、良質な住環境づくりのための公営住宅や高齢者住宅の整備、快適で安全な冬季間の生活と交通を確保するため、

水源開発事業費	3,995万4千円
基地周辺共同受信施設設置事業費	1億470万円
C経路緑地整備事業費	4,300万円
公営住宅建替事業費（北栄、(仮称)緑町、いずみ団地)	2億5,801万2千円
除雪車両等購入事業費	678万2千円

を計上しております。

次に、『学びあい心ふれあう都市づくり』の予算であります。

市民の主体的な生涯学習活動の支援とネットワークづくりをめざすとともに、次代を担う子どもたちの豊かな心と人間性を育む教育環境の整備や社会の変化に対応できる「生きる力」を身につける教育の充実を図るため、

スクールカウンセラー配置事業費	1 2 8 万 1 千円
特別支援教育体制推進事業費	2 4 2 万 7 千円
小中学校配当経費（学校図書の実充）	5 3 9 万 3 千円
教職員用パーソナルコンピュータ整備事業費	3 0 5 万円
教育用パーソナルコンピュータ整備事業費	4, 9 0 0 万円
小学校耐震化改修事業費	1, 2 5 5 万 4 千円
小学校防音機能復旧事業費	2 1 0 万円
小中学校大規模改修事業費	1 億円
豊かな体験活動推進事業費	1 0 0 万円

を計上しております。

心の豊かさが求められている今日、生涯各期のライフスタイルに対応した学習機会の充実やスポーツ振興を図るため、

市民球場整備事業費	9, 2 0 0 万円
-----------	-------------

を計上しております。

市民がうるおいとゆとりのある生活が送れるよう、豊富な文化財の保護を図るため、

埋蔵文化財センター移転整備事業費	5 0 万円
------------------	--------

を計上しております。

次に、『魅力と活力あふれる都市づくり』の予算であります。

市民生活の利便性の向上など高度情報化に対応した情報通信システムの整備を推進するため、

地域情報化推進事業費	4, 7 9 4 万 1 千円
------------	-----------------

を計上しております。

市内幹線道路や市民生活に密着した生活道路の整備など、機能的で安全・快適な道路体系の確立と公共交通機関の利便性・接続性の向上など、総合交通ネットワークの形成を図るため、

道路橋梁整備事業費	3 億 4, 4 3 0 万円
海外航空路線誘致事業費	6 0 万 2 千円

を計上しております。

千歳らしさが感じられる個性あるまちづくりをめざし、魅力ある街並みの形成や住環境の優れた宅地供給を促進するとともに、土地開発公社の経営健全化を進めるため、

泉沢向陽台住宅用地購入事業費 2億円
を計上しております。

地域の特性を活かした生産性・収益性の高い特色ある農林水産業の確立をめざし、農業経営の体質強化、農業基盤の整備、内水面漁業の振興を図るため、

グリーン・ツーリズム促進事業費 45万円
駒里地域等振興推進事業費 1,500万7千円
農地・水・環境保全向上対策支援事業費 731万6千円
畜産担い手育成総合整備事業費 1,185万1千円
土地改良事業費 1,105万円
ヒメマス保護事業費（支笏湖ヒメマス漁業権取得） 81万5千円
を計上しております。

豊かな自然など多様な観光資源を活かした観光都市づくりをめざして、

観光案内板等整備事業費 608万9千円
支笏湖温泉既存泉源調査事業費 328万2千円
ポロピナイ休憩所施設整備事業費 6,373万円
を計上しております。

次に、『参加と連携による都市づくり』の予算であります。

市民と行政が連携・協力をする市民協働によるまちづくりと効率的な行財政システムの確立、市民に信頼され開かれた行政運営を進めるため、

市民協働推進事業費 5,000万円
パートナーシップ排雪事業費 700万円
職員の意識改革支援事業費 20万円

などを計上し、市民サービスの向上と行政事務の効率化、行政の透明性や健全な財政運営を進めてまいります。

以上によりまして、今回の補正予算に係る一般財源の総額は9億600万1千円となり、この内訳は、

特定防衛施設周辺整備調整交付金など国及び道交付金 3億8,754万4千円
財政調整基金繰入金 5億1,835万7千円
繰越金 10万円

となっております。

この財政調整基金繰入金5億1,835万7千円のうち2億円につきましては、土地開発公社への未払金に対する平成18年度の決算剰余金の繰入れでありますことから、これを除きますと、今年度の収支の不足額に伴う財政調整基金の繰入金は、当初予算の3億円と合わせまして6億1,835万7千円となっております。

このほか、債務負担行為の追加並びに地方債の追加及び限度額の変更も併せて補正しております。

以上で補正予算の概要説明とさせていただきますが、よろしくご審議、ご決定いただきますようお願い申し上げます。